



NO. 901
 発行
 2017年
 1月10日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 齊藤 仁司
 編集責任者
 教 宣 部

塚の目踏切死亡事故 緊急申し入れ

2016年12月20日午前8時30分頃、信越線「塚の目踏切」内で男子高校生（16歳）が上り列車に撥ねられ死亡しました。
 今、現在いじめ等による自殺報道は無く、不慮の死亡事故としての位置づけになっています。

12月26日申し入れ

有ってはならない死亡事故で、会社の安全軽視・過度の合理化・地区自治体との説明不足等、問題があつたと言わざるを得ません。
 地方本部は4項目の内容で12月26日緊急申し入れを行いました。



申し入れ項目

- 1) 事故の詳細・原因を明らかにすること。
- 2) マスコミ報道では「冬期間、遮断棒撤去は県内約120本」と報道されている。何年から、この様な体制を行ってきたのか。今まで社員・自治体等から問題が起きたことは無いのか、明らかにすること。
- 3) 事故後の安全対策（遮断棒撤去箇所）を早急を実施すること。又、実施した安全対策及び今後の実施する予定の安全対策を具体的に提示すること。
- 4) 関係者（学校・自治体等）に事故の詳細・原因を説明して、安全対策を確立させること。



全国安全キャラバンを展開

国労本部はJR発足して30年を迎え、安全キャラバン行動を展開しています。

地域の足がなくなる

2017年4月1日、国鉄がJR移行して30年を迎えます。
 JR東日本、東海、西日本は完全民営化を果たす一方で、JR北海道、四国、貨物は国から交付された経営安定基金の運用益でかろうじて経営を維持しています。
 2016年10月、本州3社に続いてJR九州が株式上場されましたが、鉄道事業は赤字のまま、路線存廃の先行きが不安視されています。

35路線が廃止

政府は、2000年から鉄道事業法「改正」など運輸関係の規制緩和を進め、新規参入や撤退、運行路線の休廃止など免許・許可制から届出制に制度を移行させました。

現在、全国95社の地方鉄道事業者のうち約8割が赤字とされていますが、2000年以降すでに35路線が廃止となっています。



編集後記

新しい年になりました。正月はどう過ごされましたか？年末年始の連休はどこか出かけられましたか？



年末年始、仕事の方だった方、ご苦労様でした。
 新しい年を迎え、1月の旗開きが終わると、春闘の取組みや、さまざまな日程が目白押しです。身体に気をつけて寒い冬の時季を乗り越えていきましょう。
 今年も、よろしくお祈りします。

辺野古ってどいんなや(じ)く?

沖縄・辺野古に米軍基地建設で大きな問題になっています。

沖縄・辺野古について知らないことがいっぱいあると思います、地本事務所「どこへ行く?沖縄」という冊子がありました。その冊子にいろいろ興味深い内容が記載されています。その内容を「国鉄新潟」の紙面で紹介していきたいと思えます。遠く離れた沖縄、もつと身近に感じていただければ幸いです。

サンゴとマングローフに 囲まれた楽園

辺野古は沖縄本島の東海岸、那覇から北へ車で1時間ほどのところにある。約18000人の集落です。

豊かな海と山に囲まれ、戦前は漁業と農業を生業としていました。食糧難で食べるものがないときにも生き延びてこれたのは、栄養豊かな海があったからこそと、地元の人はいいます。



海には絶滅のおそれがあるジュゴンや多くの種類のサンゴが棲み、海の大草原＝藻場がひろがり、振り向けば干潟にマングローフの林。これだけの多様な生息場が狭いところに組み合わさって存在するのはめずらしい、自然の宝庫です。

人魚伝説のモデルとしても親しまれてきたジュゴンは、体長2.4m

3.0m、体重は250〜400kgのほ乳類です。水中をゆつくりと泳ぎながら海藻を食べている姿は、まるで草原で草を食む牛のようとも。

キャンプ・ジュワフって?

そんな辺野古には、米海軍(海兵隊)基地「キャンプ・シュワブ」があります。

名護市と宜野湾市にまたがる20.626km²のこの基地は1956年、岐阜県や山梨県に駐留していた海兵隊が移駐し整備されました。

久志岳を中心とする山側にシュワブ訓練地区、海沿いにキャンプ地区はありヘリパッドや上陸用舟艇、司令部、兵舎、劇場、クラブ、医療施設などを備えています。大規模な弾薬庫もあります。

実弾発射訓練や水陸両用訓練、廃

NRU 2017年 地本旗開き

1月21日(土) 新潟市東映ホテル

多くの参加をよろしくお願ひします。前段に「じん肺」について学習会を開催します。



弾処理なども行われており、それに伴って山火事や事故も発生。基地の周辺では、オスプレイや廃弾処理などによる騒音被害も深刻です。

辺野古の基地は移設? それとも新設?

1995年の米兵による少女暴行事件を受け、日米両政府は96年「世界一危険な基地」といわれる宜野湾市の米軍普天間飛行場の返還を決めました。(SACO合意)。

返還は5〜7年以内、普天間飛行場の5分の1の規模に縮小して「沖縄本島東海岸沖」に移設する計画でした。日本政府は99年にその移設先を「辺野古」と閣議決定。県民の根強い反対があるなか、2013年末仲井眞弘多前知事が承認しました。

いま進められようとしている工事は、沖合を160haも埋め立てて、1800mと1200mの滑走路を造り、普天間飛行場にはないヘリ空母を横付けする巨大な岸壁や弾薬搭

載エリア(戦闘機装弾場)も兼ね備えるという大規模なもの。これらはもはや機能を強化した新基地建設といえませんか?

次回続きます。



編集後記

今号は、沖縄・辺野古について企画しました。次号も続きます。なかなか、地元の状況や具体的な内容が伝わっていません。

沖縄の海にオスプレイが不時着したと報道されていますが、あれは不時着ではなく墜落です。正しい報道がされています。

こんなに危険なオスプレイを簡単に飛行させようとしています。

